

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きりり」武蔵小杉校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練室 1 部屋（面積 34.3㎡）を、パーティションで 1～3 部屋に区切って使用しています。利用児童の特性に合わせて、適切な支援スペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			職員の配置は、指定基準を遵守しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	2 階設置の校舎で、現状バリアフリー化されていないため、受け入れ態勢に限りがありますが、利用児童・保護者様には注意を呼び掛ける等の配慮をしています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			保護者様からの要望を全職員で共有し、その都度改善できるようにしています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎月 1 回事業所評価を行い、その結果を踏まえて業務改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			事業所ホームページで公開するだけでなく事業所内掲示でも、お伝えできるようにしています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		第三者による外部評価を検討していきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			資質向上を図るために、定期的な研修に積極的に参加しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			支援時の様子、発達検査等の結果を踏まえて、アセスメントを行っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			計画期間ごとにアセスメントを実施し、個別支援計画を作成しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			利用児童の事例を共有・議論する、サービス担当者会議を、適宜開催しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用児童一人ひとりの特性や、興味・関心に合わせ、効果的に楽しく学べる活動プログラムを検討しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇中は、必要に応じて、支援内容を変更しています。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用児童に合わせ、個別療育・小集団療育を適宜実施出来る様個別支援計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援の振り返り・打ち合わせを実施し、支援内容の共通理解をしながら、支援にあたっています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後には、利用児童の様子、保護者様からの要望、意見等も必ず情報共有できるようにしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回の支援内容を、記録として残しています。成長や変化などの共通理解がしやすいよう、職員間での情報共有を行っています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービスの計画の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			利用児童一人ひとりの発達を支え、健全な育成を図る観点で、常に工夫するよう心がけています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者を中心に参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		保護者様から学校との連携要望があれば、その都度連携を行うようにしています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		保護者様を通じて、関係機関との連携を図り、アドバイスを受けながら適切な支援を行っています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		保護者様と連携を取り合い、支援の連続性を保つため、情報共有と相互理解に努めていきたいと思っております。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		卒業される利用児童の保護者様への案内や、パンフレットを設置し、参考にして頂いています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			障害種別や障害特性の理解、また、活動や支援方法に関して助言や情報共有をして頂いています。今後も、連携を図りながら適切な支援を行えるようにしていきます。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	個別療育を基本としているため、児童同士の交流の場は、現状設けておりません。

	⑳ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			「豊かな地域療育を考える連絡会」に定期的に参加しています。
	㉑ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			支援後の振り返りの時間を利用して、ご意見を伺い、共通理解ができるようにしています。 必要に応じて、メールや電話・お手紙等にて課題の共通理解が出来るよう、心がけています。
	㉒ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		保護者様からの要望に応えるだけでなく、保護者様に対し、利用児童の発達・成長を支えるための支援や、アドバイスを必要に応じて行っています。
保護者への説明責任等	㉓ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、または、毎月領収書・請求書を渡すときに説明をしています。
	㉔ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			支援後の振り返りの時間や、事業所内相談で保護者様の子育て支援をしています。
	㉕ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	ご要望に応じ、保護者会や保護者様同士の連携を支援していける場の設定を検討していきます。
	㉖ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			相談や申入れの対応の体制を整備し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しています。また、苦情受付窓口を設置し、対応できるようにしています。
	㉗ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		会報は発行していませんが、事業所ホームページのブログや、事業所内の掲示板を使い、周知できるようにしています。
	㉘ 個人情報に十分注意しているか	○			専用鍵付きキャビネットでの書類保管を行っています。細心の注意を払い、職員全員で共通認識を持ち、個人情報の取り扱いには、十分注意していきます。
	㉙ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	㉚ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			支援の様子の公開や見学者の受け入れを行い、開かれた事業所運営ができるよう、心がけています。また、随時ホームページのブログで支援の様子を報告しています。

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		教室内での掲示や閲覧書類として、周知をしています。職員間では研修を行い、共通認識を持てるようにしています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月1回の避難訓練の計画・実施を行うとともに、利用児童・保護者様へ参加をお願いしています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		マニュアルの策定をし、虐待防止委員会への参加、適切な対応の検討を行っています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		マニュアルを徹底するとともに、契約時に重要事項説明書を参照しながら説明をしています。必要な利用児童には個別支援計画の特記事項に記載をしています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	食事の提供は行っておりませんが、契約時にアレルギーの有無の確認を行っています。マニュアルを徹底するとともに、支援時に該当物質との接触が起こらないよう留意しています。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		記録を欠かさず取り、改善するように努めています。ミーティングで再確認し、職員間での共有を行っています。	

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」武蔵小杉校

保護者等数（児童数）： 38 回収数：28 割合：74%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	6	1	3部屋使用の時は、スペースが狭いため体を使った遊びは難しいと感じた。 ：利用者様一人ひとりに合わせた個別療育が行えるように、支援スペースを設定しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	22	2	4	場合によっては、心理士資格を持っている先生が配置されていればいいなと思うことがある。（資格を持っている心理士に相談して、その場で回答を返してもらう必要がある事もある） ：事例検討会を設けたり、発達支援研究所より適切なアドバイス等をいただいたりして、専門性を高められるようにしています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	20	3	教室内は段差など無いが、玄関の外には、鉄製階段があり少し危険ではないかな？と思う。足を捻挫したり、負傷したりした場合に、通所できないことがあると思う。 ：2階教室のため設備としての制限が出てしまっているのが現状です。教室内では安全面に配慮した環境づくりをしています。足の捻挫などをして階段を上るのが難しい場合は、職員も補助いたしますので、お気軽にお声掛けください。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	26	2		
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	27	1		指導員によっては工作ばかりになってしまうことがあります。 ：職員間の連携を図り、支援計画に沿って、活動を計画していきます。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	26	個別療育が基本のため、児童同士の交流機会は現在実施しておりません。要望や必要に応じて検討していきます。また、関係機

					関との連携は保護者様のご要望に合わせて引き続き実施していきます。	
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	28			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	27	1		新しく配属された先生にも他の先生方の支援内容を参考にしてほしいです。 ：職員研修などを通して、共通認識ができるようにしています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	1		
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		13	15	個別療育が基本なため、小集団や同じ時間でのご利用以外、保護者様同士の交流会としては、現在実施しておりません。 ご要望に応じて、今後開催の検討をしています。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22	6		苦情を伝えたときに、適切に対応してもらった。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	5		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	10		毎月ブログ等で、活動の様子を紹介しています。教室掲示でも、定期的にお伝えできるようにしています。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	25	3		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	21	4	3	マニュアルを策定し、研修を実施しています。保護者様へ伝わりやすいように、今後は周知の方法を改善し、説明を再度行っていきます。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	9		やっているのを知らなかった。 ：非常時に適切に行動できるように、定期的に避難訓練を実施しています。今後は、保護者様、利用者様に伝わりやすいように、ブログや、教室掲示を使って周知していきます。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	25	3		家を出るときは嫌がっていることもありますが、中に入ってしまうと楽しそうにやっています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	26	2		

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。